

2006年11月21日

報道関係者各位

株式会社アパマンショップホールディングス

**アパマンショップ、大幅な業務効率を実現する
「アパマンショップオペレーションシステム(AOS)」全国展開
～導入店舗数全国で200店舗突破～**

株式会社アパマンショップホールディングス(東京都中央区・代表取締役社長 大村 浩次 証券コード 8889)の100%子会社である株式会社アパマンショップネットワーク(東京都中央区・代表取締役社長 川森 敬史)は、2006年10月より導入を開始している営業支援ツール「アパマンショップオペレーションシステム(AOS)」の利用店舗が200店舗を突破したと発表いたしました。今後は、2007年7月をめでに全国の全ての店舗へ導入を図って参ります。

「アパマンショップオペレーションシステム(AOS)」(以下 AOS)は、アパマンショップ加盟店の大幅な業務効率化を実現するため、従来賃貸斡旋業界では紙ベースで行われていたお客様の情報、営業実績、スタッフの行動予定など一連の賃貸斡旋業務で発生する各種情報がデータベースに蓄積され、後続業務や各種帳票類に反映される仕組みとなっています。

また、AOSでは、登録された物件情報とお客様の希望条件がタイムリーに自動マッチングが行われるため、よりの確な物件をお客様へご紹介することができます。本機能に加え、AOSではメール機能も連動しているため、AOSのデータベースからお客様のアドレス抽出することやAOS上でお客様がお気に入り登録した物件をメールに添付しお送りすることも可能となっています。

さらに AOS では、日常業務の情報が自動的に蓄積されるため、管理職はスタッフ一人一人が行っている業務の進捗状況をリアルタイムに把握することができます。また、スタッフのスケジュール管理だけでなく、統計・分析機能を利用し、契約履歴や反響情報等のデータベースに蓄積されたデータを基に、お客様のニーズやエリアごとの需要傾向も把握することができます。本機能により物件の査定から不動産オーナーへの提案まで幅広く活用することができます。

アパマンショップグループは今後も店舗で働くスタッフの業務効率化を図り、労働生産を向上させることで、業界の質的向上に貢献してまいります。

以上

実際の AOS で使用する画面



個人情報の取り扱い説明ページ(左)、AOS ポータル画面(右)